

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Oct.2011
10
1,612



特集

福の風

県内を西から東に横断して開催されたロックイベント「LIVE 福島 風とロック SUPER 野馬追」。3日目は9月16日、町内の志田浜で開かれました。

写真は、熱い歌とメッセージで会場を熱狂させたサンボマスターの山口隆さん(会津若松市出身)。【関連2ページ】

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan



1_母なる湖、猪苗代湖の前で初ライブとなった猪苗代湖ズ。「I love you & I need you ふくしま」の熱唱で会場は一つになった 2_トップバッターで登場したサンボマスター 3_聴衆の中に飛び込み、メッセージを叫ぶ BRAHMAN 4_昨年に引き続き福島を訪れた高橋優さん 5_熱い歌とメッセージで会場を盛り上げた怒髪天



「福島の未来をここから始めよう。世界中の人の心に、未来に、みんなの心を届けよう。みんな、力を貸してくれ！」サンボマスターの山口隆さんが発したメッセージは、激しい風のように聴衆の心を揺さぶり、会場全体の心をついにした

NOTHING BEATS FUKUSHIMA, DOES IT ?
(福島はどんなことがあってもくじけないぜ)

震災直後から県民を励まし続けたのは

猪苗代湖ズ登場

ライブの大トトリを飾ったのは、震災直後から県民を励まし続けたのは、猪苗代湖ズ登場。ライブの大トトリを飾ったのは、震災直後から県民を励まし続けたのは、猪苗代湖ズ登場。ライブの大トトリを飾ったのは、震災直後から県民を励まし続けたのは、猪苗代湖ズ登場。

奥会津からいわきまでの県内6カ所を横断するようにライブを開催し、福島から元気を発信したロックイベント「LIVE 福島風とロック SUPER 野馬追」。本町ではイベント3日目となる9月16日、志田浜を会場に開催された。



【風が吹いた】

たあの曲を歌う、猪苗代湖ズ。クリエーティブディレクター内道彦さん(郡山市出身)、サンボマスターの山口隆さん(会津若松市出身)、TOKYO No.1 SOUL SETの渡辺俊美さん(川内村出身)、THE BACK HORNの松田晋二さん(塙町出身)ら、本県出身の4人で結成したバンドだ。

松田さんが「猪苗代湖ズの生まれた地ともいえるこの場所で歌えてうれしい」と話した後、「I love you & I need you ふくしま」を演奏。観客も一緒に熱唱し、会場全体が一つになった。

メッセージを追い風に

出演したアーティストたちが語った、福島や猪苗代に対する思いやメッセージは、会場を訪れた町民や県民を励まし、他県から来たファンを共感させた。「福島は負けない。復興に向かって前に進もう」という気持ちで会場全体が一つになった。

「福島の未来をどうしたいんだ、聞かせてくれ」「未来のために力を貸してくれ」。

出演者が奏でたメロディーや語った言葉は、私たちの心を揺さぶり、踏み出す一歩を後押しする力強い追い風のようなだった。

特集

福の風

東日本大震災の発生直後、私たちは混乱の中で今を、明日をどうするかを考えていた。震災から半年以上が経過し、私たちにできることも徐々に変わってきている。今を生きることを考えていたあのころから、少し先の未来を考える時期へ。わたしたちはどんな生活を、どんな古里を取り戻したいのか。そしてそのためには何が必要なのか

猪苗代の現状

東日本大震災から半年以上が経過した。原発事故に見舞われた県内では、いまだに不自由な避難生活を続けている人や原発事故の影響による被害に苦しむ人たちも多い。そしてそれは、観光と農業の町である本町も例外ではない。

合宿や修学旅行などのキャンセルで団体客が減少しているほか、二次避難者が退出したホテルや旅館でも空室が目立つという状態。個人の観光客も減っており、入込客数は昨年の半分以上に減少した。

農作物では、放射性物質が検出されていないにもかかわらず安値で取引されるものや購入を敬遠されるものがあるなど、一部品目が風評被害と言われるものの影響を受けている。

低レベルの放射線を長期間にわたって浴び続けることが、人体にどのような影響を与えるかについては、データが少ないために分からない。私たちはいまだに目に見えない脅威との戦いを強いられている。

そんな向かい風とも言える状況の中、イベントで被災者を勇気づけるとともに、福島から元気が活発になってきている。

【風を起こす】

「ジンギスカップ」や「懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて」は、毎年町内で開催されてきた大会。震災の影響で本年は開催が危ぶまれたが、猪苗代の元気を町内外に発信したいと実施に踏み切った。イベントを開催したからこそ、この町に来てくれる人がいる。自らが動き、風を起こす。その意義がイベントから見えた。



出発進行の掛け声とともに川桁駅を出発した参加者

懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて

昭和の大ヒット歌謡曲「高原列車は行く」のモデルとして知られ、1969（昭和44年）年に廃止された沼尻軽便鉄道。その鉄道跡を歩く「第13回懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて」ウォーキングイベントは10月1、2日の両日、旧路線跡などで開催された。参加者は秋風を頬に受けながら思い思いのペースで歩き、心地よい汗を流した。町商工会青年部などで作る実行委員会が主催したこのイベントには、約180人が参加。2日には川桁駅から中ノ沢温泉までの約18kmの旧路線跡を歩いた。全11箇所の駅跡では、スタッフ



木地小屋～沼尻間にある森のトンネル

Interview



懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて実行委員長 佐藤智弘 さん
Sato Tomohiro
八千代

触れ合いを感じるイベントに

今大会は、風評被害の影響や放射線量など、いろいろなことを検討して開催にこぎつけた。参加者は約180人と、例年と比べて少ないが、2日間を通して参加する人の数は目標数を上回るなど、ある程度達成できた目標もあった。現在、猪苗代や福島県は、原発事故の被害の中にあり、少し元気を失っているように感じる。こんな時だからこそ、イベントを開催できるくらいの放射線量であることや猪苗代は元気であることなどをしっかりとPRしていきたい。お客さんと話をして、直接メッセージを伝えられるような、お客さんが触れ合いを感じられるような、そんなイベントにしていきたい。



1_ スポーツ、エキスパークラスのスタート直後。上り1号線を一気に駆け上がる
2_ コース内最大の難所の一つ、転倒者続出の3熊ドロップス
3_ レースでは本気表情を見せるお父さんも、スーパーキッズのレースでは、すっかりやさしい顔に

第5回ジンギスカップ in 磐梯高原

初秋の磐梯高原の自然の中を、マウンテンバイク(以下MTB)にまたがり、風を切って駆け抜ける。第5回ジンギスカップ in 磐梯高原は10月1、2日の両日、南ヶ丘牧場周辺のMTBコースで開催された。大会は、実行委員会と運営委員のジンギス友の会などの主催。補助輪付きの自転車に乗る幼児のスーパーキッズクラスから、競技者向けのエキスパークラスまでの男女別全15クラスで争われた。約300人の参加者は、大自然の中を切り開いて作られたコースに悪戦苦闘しながら、全力でレースに挑んだ。

自ら動き、風を起こす

ジンギスカップの名のとおり、レース終了後にジンギスカンが食べられるのもこの大会の魅力の一つ。参加者は、チームメイトや家族と南ヶ丘牧場の名物に舌鼓を打った。大会には、アテネ五輪日本代表の竹谷賢二さんと現役国内トップクラスのライダー山本和弘選手も参加した。日本を代表するMTBライダー2人は1日、ボランティアでMTBスクールを開催。参加者から募金を募り、その全額を福島県と宮城県南三陸町のがつねMTB大会への寄付とした。



山本和弘さん Yamamoto Kazuhiro
【CANNONDALE RACING TEAM 所属】

W杯、世界選手権やジャパンシリーズにも出場する現役国内トップクラスのプロライダー竹谷さんが復興支援イベントをやると聞いたので参加した。震災後、選手として何かできることはないかと考えていた。自転車の好きな人をハッピーにしたいと思って来たが、自分と会って喜んでくれる顔を見るとうれしく思う。福島の大会は少ないので、この大会に参加して福島の皆さんの生の声を、震災の真実を聞こうと思った。今回聞いた話をこれからの復興支援に還元したい。

Interview



ジンギス友の会会長 (大会運営委員) 森山栄幸 さん
Moriyama Hideyuki
瀬川

「猪苗代ならできる」理由

私が帰郷したころ、県内で3つあったMTBの大会は、現在すべてなくなってしまった。他県の大会に出て楽しく走っているのに、なぜ地元ではできないんだと思い、この大会を企画した。猪苗代ならできると信じて頑張った結果、規模は小さいが、今では日本を代表する選手が来てくれる大会になった。南ヶ丘牧場の皆さんやスポンサーとして協賛してくれる企業の皆さんにも本当に感謝している。皆さんがいることも猪苗代ならできると考えた理由の一つ。この大会を通じて、猪苗代を広くアピールしていくことで皆さんに恩返しをしたい。来年からも頑張っていくので、町内で協力してくれる仲間を募集している。

震災の影響で、本年は開催が危ぶまれた両イベント。しかし、実行委員会からは諦めなかった。現状をただ嘆いていても何も変わらない。イベントは、町民と町外から来た人が交流する絶好の機会。交流を通じて、町民のメッセージを町外の人に発信できる機会であるとも言える。こうしたイベントに、町外から参加したい、手伝いたいと言ってくれる人がいるのも、イベントそのものを開催したから、自分たちが動いたからだ。自ら動き、新しい風を起こす。復興に向けた重要な取り組みだ。



竹谷賢二さん Takeya Kenji
【SPECIALIZED 契約アドバイザー】

4度の全日本選手権優勝、アテネ五輪日本代表などの実績を持つ日本のトップライダー。東北のレースには、人とのつながりから参加するようになった。そんなつながりで復興支援活動をしている。私たちにできることは、とにかく動くこと。そしてその運動を広めること。1人から2人へ、2人から4人へと広がればいいと思う。草の根活動かもしれないが、草の根がなければ、芽も出ないし花も咲かない。これからもいろいろなイベントに参加して、自分にできることをやっていきたい。

【今、その思いを】

未曾有の大災害に見舞われる私たち
この現状を乗り越えるには
もう一步を踏み出すことが必要だ
無理はしなくていい
一人一人が、自分にできる一步を



ここから第一歩を

未曾有の大震災に見舞われた県内では、原発事故の影響で観光客が減少している。福島産の商品の返品や買い控えなどが起こっているのも現状だ。それも国内だけの話ではない。現在、世界中のどこの国に聞いても「フクシマ」という名前が好意的に受け入れられることはないだろう。

この現状を打破し、望む未来を手に入れるためにはどうしたらいいだろうか。県内に漠然と漂う閉そく感。そこに風穴をあけられるのは、他でもない私たち自身だ。自分自身に何ができるかを考え、とりあえず、できることから始めよう。それが第一歩を踏み出すことだ。

イベントへの関わり

現在、町内で開催されているイベントは、昨年まで継続的に開催されてきたイベントだけではない。本町では、さまざまな復興支援イベントも開催されている。

10月1、2日の両日、町内のリステルパークをメイン会場に開かれた「第1回うつくしまあるきめですin猪苗代」などもその一つで、2日間で延べ約



1200人が参加した。川桁地区の曲淵大根クラブ会（佐藤智昭会長）は、地元産の野菜や果物などを販売し、参加者と交流を深めた。

イベントに参加して、何かを感じ取る。スタッフとして参加して、積極的に手伝ってみる。自分がイベントを開催するなど、関わり方は人それぞれだ。無理にイベントに参加する必要はない。参加者や通りがかりの人との何気ない会話や笑顔。それは行動したことと同じだ。



1 アンコールも「I love you & I need you ふくしま」。お年寄りから子どもまで会場にいる全員が熱唱（風とロック） 2 切符を切りながら言葉を交わすスタッフと参加者（沼尻軽便ウォーキング） 3 家族や友人の温かい励まし？に周囲からも笑みがこぼれる 4 今大会もボランティアで猪高生が参加。佐藤早さん（左：3年）と武藤由美子さん（右：同）（3.4 ジングスカップ）

「うつくしまあるきめです」に参加



田んぼの稲も磐梯山もきれいで景色が最高でした。初めて歩いた天神浜も、また来たいねと話しました。今、県内はどこも大変な状況ですが、あまり悲観ばかりせず、いろいろな経験をする機会と思って頑張っています

伊東日出子さん（左）、松本三起子さん（右）：二本松市

「ジングスカップ」に参加



正面に磐梯山を望む最高のロケーション。アットホームな雰囲気があふれる会場。そして玄人好みのテクニカルなコース。まだまだ大きくなる大会だと思ふ。運営する側は大変だと思ふが、こんな時期だからこそ頑張っていてほしい

佐藤哲也さん：川俣町

「風とロック」に参加



サンボマスターと猪苗代湖ズを見に来た。バカみたいな熱さと、変に整っていないところがいい。私の実家はいわき市にあるので、原発事故は「くやしい」の一言。今日はまっすぐなメッセージに励まされた。ここから復興を目指して頑張りたい

矢内一成さん：宮城県仙台市

「懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて」に参加



猪苗代の知らない場所を歩いて楽しかった。スタッフはもちろん休憩所の皆さんもとても親切に声をかけてくれた。ゴール後のそばもおいしかった。イベントというにぎわいづくりは、参加した人も地元の人も元気にしてくれると思う

佐藤康子さん（左）、佐藤敦子さん（右）：北塩原村勤務

イベント参加者からの Message

地元の魅力を再発見

「原発事故の影響によって、県産品の売れ行きは悪い。観光客も減少している。このピンチを自分たちが住む猪苗代や福島の自然、歴史や文化などを再発見するチャンスにはどうだろうか」ジングスカップ大会会長など、さまざまなイベントで役員を務める渡部英一さん（みなとや代表取締役）は、取材先でそう話した。

悪い評判は放っておいてもすぐに広まるが、良い評判はコツコツと地道に積み重ねていくしかない。しかし、良い評判を積み重ねていく間に、人と人とのつながりや絆ができれば、広がり方が変わる。口コミは最強の情報伝達手段だ。その方法で伝えられた良い評判は、強い力を持つて広がっていく。

今まで行ったことのない県内の市町村に行き、観光をする。観光客向けのガイドブックなどを片手に、町内の史跡などを巡ってみる。きっと新しい発見があるはずだ。

発見した魅力を、友だちや知り合いに話す。復興支援イベントなどを通して交流を深めた人に伝える。そうすれば、魅力を知った人は、それを他の人にも伝えてくれるはずだ。私たち自

身が猪苗代の、福島を再発見すること。これも新しい一歩、立派な復興支援だ。

自分にできる一歩を

復興支援イベントなどで、私たちに向けられた励ましの言葉やメッセージは、前を向き、一歩を踏み出す力になる。それと同時に、他の誰かと話をすると、私たち自身の言葉は猪苗代の、福島の今を伝えるメッセージになる。

私たちは、メッセージの受け手であると同時に発信者、つまり、一人一人がメッセージャーなのだ。それを意識することで、また新しい一歩が踏み出せるだろう。

誰かが発するメッセージで、誰かが動くその姿を見て、私たちは動き出すかもしれない。私たちが動いたその姿を見て、他の人が一緒に動き出すかもしれない。

私たちの起こす風は、猪苗代からの、福島からの風。その風がいつか、回りまわって幸福を運ぶ風となって猪苗代や福島に吹いてくれたら。

そのためには、私たち一人一人が、自分にできる一歩を。

決算

一般会計から見る
町の財政状況

わたしたちの生活に密接にかかわっている一般会計の決算状況を見てみましょう。

歳入は約74億7千万円

歳入は、皆さんが支払う町税、町が事業をするために借り入れる町債、地方交付税、国庫支出金や県支出金などが主なものです。

22年度の歳入総額は、74億7932万4千円で、前年度より4654万3千円減少しました。減少の主な理由は、

歳入全体に占める町税、負担金や使用料などの自主財源（町が独自に調達できる財源）の割合は、33・6%で、昨年より1・4ポイント減少しています。町税は、長引く不況の影響で、個人や

企業の所得が低迷し、町税全体で5・3%、金額にして1億479万9千円の減収となりました。

歳出は約72億6千万円

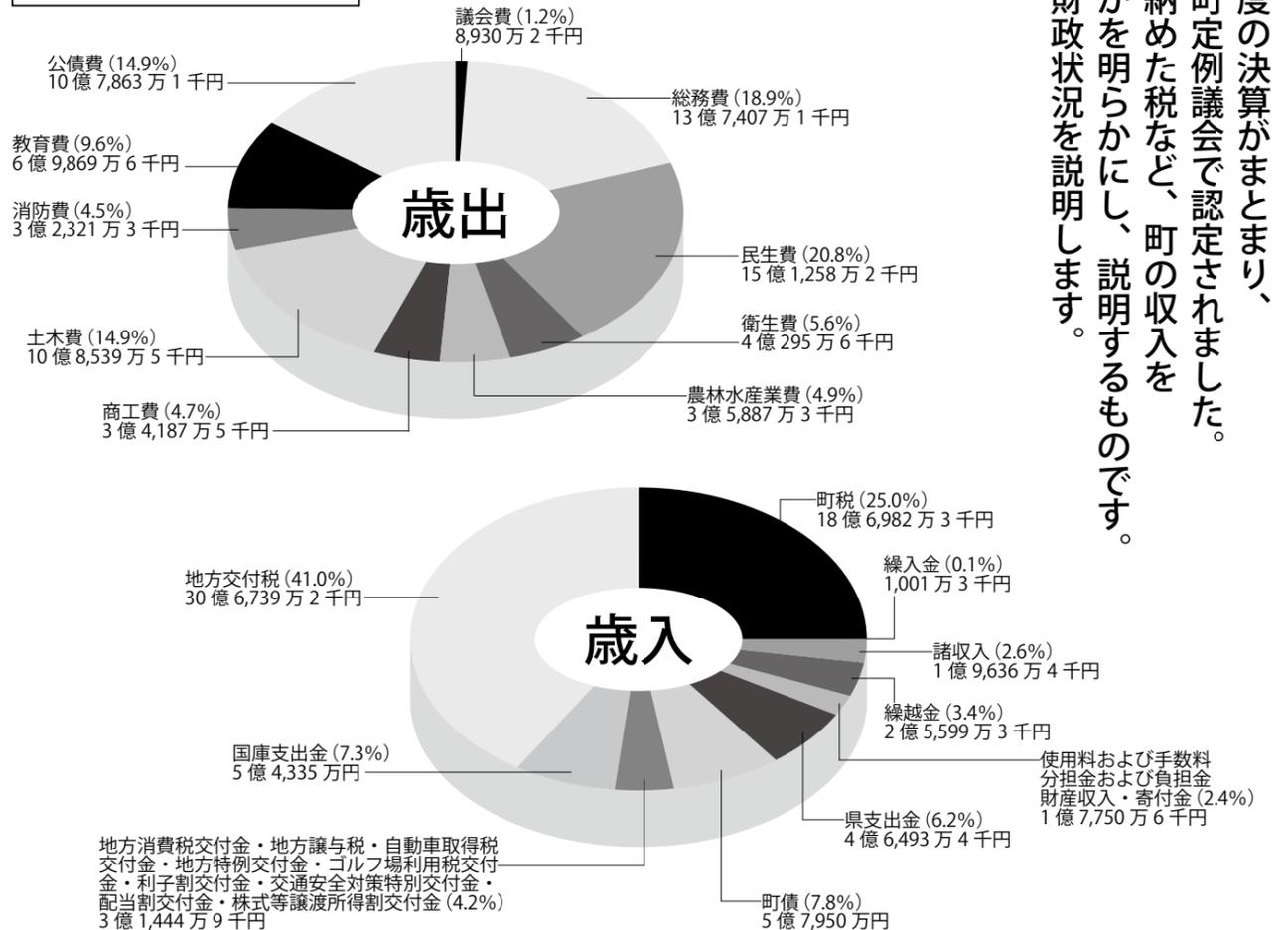
一方、歳出のほうを見てみましょう。22年度の歳出総額は、72億6559万4千円で、前年度より428万円減少しました。

歳出の主な事業は、子ども手当の新設、緊急雇用創出基金事業、ふるさと雇用再生特別交付金事業などです。不況の影響で離職する人が増加したことを受け、雇用の創出に力を入れました。

一昨年度まで本町では、一般財源の不足分を、財政調整基金からの繰り入れに頼っていました。しかし、昨年に続き22年度も繰り入れをせず、財政調整基金に約4億6千万円の積み立てをすることができました。

このほど町の22年度の決算がまとまり、9月に開かれた、町定例議会で認定されました。決算は、皆さんが納めた税など、町の収入をどのように使ったかを明らかにし、説明するものです。決算から見る町の財政状況を説明します。

一般会計内訳



平成22年度歳入歳出決算額および対前年度比較表 単位：千円

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	歳入		歳出		21年度	
				21年度との比較	増減率	21年度との比較	増減率	歳入	歳出
一般会計	7,479,324	7,265,594	213,730	△46,543	△0.82%	△4,280	△0.06%	7,525,867	7,269,867
特別会計	11,479	10,866	613	△23,462	△67.15%	△23,639	△68.51%	34,941	34,505
特種会計	2,835	2,397	438	△3,563	△55.69%	△3,256	△57.60%	6,398	5,653
猪苗代地区財産区	12,997	12,758	239	2,100	19.27%	1,982	18.39%	10,897	10,776
翁島地区財産区	29,794	29,355	439	△1,699	△5.39%	△1,813	△5.82%	31,493	31,168
長瀬地区財産区	1,767,530	1,637,761	129,769	20,142	1.15%	△78,761	△4.59%	1,747,388	1,716,522
吾妻地区財産区	350	350	0	△13,472	△97.47%	△13,346	△97.44%	13,822	13,696
国民健康保険	62,355	57,915	4,440	△82,466	△56.94%	△85,707	△59.68%	144,821	143,622
老人保健	657,248	641,642	15,606	△35,232	△5.09%	△31,492	△4.68%	692,480	673,134
簡易水道事業	121,896	117,240	4,656	△41,159	△25.24%	△41,428	△26.11%	163,055	158,668
下水道事業	263,598	246,091	17,507	△3,703	△1.39%	△15,669	△5.99%	267,301	261,760
特定環境保全下水道事業	1,191,683	1,188,103	3,580	△29,631	△2.43%	△25,236	△2.08%	1,221,314	1,213,339
農業集落排水事業	154,234	153,868	366	653	0.43%	470	0.31%	153,581	153,398
介護保険	4,275,999	4,098,346	177,653	△211,492	△4.71%	△317,895	△7.20%	4,487,491	4,416,241
後期高齢者医療	11,755,323	11,363,940	391,383	△258,035	△2.15%	△322,175	△2.76%	12,013,358	11,686,115
特別会計									
一般会計+特別会計									

水道事業会計決算 ()内は前年度比率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収入	303,062 (100.5%)	収入	1,343 (△86.5%)
支出	267,172 (101.5%)	支出	134,486 (100.5%)

*資本的収支の不足額1億2,389万8千円は、内部留保資金、建設改良積立金などから補てんしました。

病院事業会計決算 ()内は前年度比率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収入	58,410 (△15.2%)	収入	84,899 (△93.8%)
支出	51,640 (△25.1%)	支出	78,370 (△94.3%)

町の財政指標から見る

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に設けられた、4つの指標の状況を見てみましょう。本町の場合、実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字ではないので、該当がありません。

実質公債費比率は、**16・3%**

地方交付税などの歳入のうち、何%が借金の返済に使われているかを示すもので、過去3年間の平均値で示されます。町の実質公債費比率は、

将来負担比率は、**116・4%**

将来負担比率は、一般会計における標準的な年間収入の何年分の借金があるかを表す比率です。町の将来負担比率は、116・4%で、昨年より24・5%減少しています。

町では、財政健全化計画などを策定し、今後も経費の削減に努め、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

町税の負担

町民の皆さんが22年度に負担した町税は、年間平均で1人当たり116,391円、1世帯当たり351,602円となりました（国民健康保険税を除く）。

1人当たり町税負担の内訳

町民税	35,254円
固定資産税	68,977円
軽自動車税	2,112円
町たばこ税	7,108円
入湯税	2,115円
国民健康保険税	89,866円

※町民税負担の内訳は、23年3月31日現在の住民基本台帳人口16,065人、世帯数5,318世帯、国民健康保険税は4,470人で計算しています。

Elementary school



写真上 男子100m走、男子走り幅跳びで2冠を達成した吾妻小学校の森田さん(左端)。見事な脚力を披露した
写真下 女子80mハードルの様子。見事なハードリングを見せゴールを目指す

ソフトボール投げで大会新

野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭は9月14日、町運動公園陸上競技場で開かれ、町内6小学校の児童が全力で競技に取り組みました。

女子ソフトボール投げでは森川恵さん(翁島小)が43m10cmの大会新記録で優勝。吾妻小学校の遠藤真桜さんは100m走で2位、80mハードルで優勝と2種目で入賞する活躍を見せました。

男子でも、100m走と走り幅跳びで優勝、二冠に輝いた森田康哉さん(吾妻小)や同じく100m走で2位、80mハードルで優勝した長峰悠真さん(千里小)らの活躍が目立ちました。

児童たちは日ごろの練習の成果を発揮し、自己ベストを目指して競技に取り組みました。また、自分の種目以外の時も休むことなく、応援に来た保護者らと一緒に競技中の児童を応援し、友情を深めました。

Junior high school



写真上 東中学校で開かれたバレーボール競技には、全4校が参加。写真は猪中と吾妻中の対戦
写真下 カメリーナでも全4校が参加して卓球競技を開催。写真は吾妻中と磐梯中の対戦

管内中体連新人大会を開催

23年度北会津管内中学校体育大会新人総合大会は9月27日、町運動公園、カメリーナや各校の体育館などで開かれました。町内3中学校と磐梯中学校の4校から、1・2年生が参加。野球、バレーボール、バスケットボールや卓球など7種目で日ごろの練習の成果を競い合いました。主な成績は次のとおりです(サッカー、剣道、バドミントンは猪苗代だけ)。

- 野球 優勝 東、2位 猪苗代
- バレーボール 優勝 東、2位 磐梯
- バスケットボール 優勝 磐梯、2位 猪苗代
- 卓球 男子団体 優勝 猪苗代、2位 東
女子団体 優勝 磐梯、2位 吾妻
男子オープン優勝 岡野海人(猪苗代)
女子オープン優勝 星 秋穂(磐梯)
- 剣道個人 男子優勝 笠間大典、女子優勝 笠間弓加
- バドミントン 男・女シングルス優勝 薄 崇彦、川井彩乃、男・女ダブルス優勝 吉川大・穴澤大ペア
大竹友貴・古川有李紗ペア

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上 第2試合は父兄チーム対3年生チームが試合をしました(第1試合は1・2年生チーム対3年生チーム)
写真下 まだまだ生徒には負けられない。鋭い打球を飛ばす仲松コーチ

感謝の気持ち込め引退試合

東中学校野球部の3年生引退試合は9月4日、同校グラウンドで開かれました。この試合は、後輩が先輩を次の道に送り出す、3年生は感謝の気持ちと足跡を残すという意味が込められた同校野球部の伝統行事です。

元キャプテンの齋藤涼さん(3年)は「今日の試合で、もう一度後輩たちと野球がしたくなった。仲間と一緒に練習した部活動は、中学校で一番楽しい思い出、新キャプテンの鈴木蓮さん(2年)は「今日は先輩たちを送り出す気持ちで楽しく試合をした」と話しました。

3年生の伊藤大和さんの父、和榮さんは「入学したばかりのころは体も小さかった子どもたちが、部活動を通して心身ともに成長した。それぞれ高校に進学しても、この絆を大切に、地域の友人として友だちづきあい続けてほしい」と話しました。



写真上 おじいちゃん、おばあちゃんと協力して頑張る、千里幼稚園の「あくしゅでこんにちは！」
写真下 猪苗代保育所の親子競走「白馬に乗った王子様、お姫様」

家族で楽しむスポーツの秋

スポーツの秋を迎え、町内の保育所や幼稚園では運動会が開催されました。

町内3保育所、みどり幼稚園と吾妻幼稚園の運動会は9月17日、各園や町内の体育館などで開かれました。猪苗代保育所では、綱引き、紅白玉入れ、リレーなどの団体競技のほか、親子競技、リズム体操や白虎隊の演舞などに取り組みました。

千里幼稚園と猪苗代幼稚園の運動会は10月1日、同園とカメリーナで開かれました。千里幼稚園運動会のテーマは「ディズニー」。園庭をちさとディズニーワールドと名付け「プーさんのハニーハント」「ミッキーとミニーマウスの数くらべ」「ディズニー体操」など全18種目に挑みました。

真剣な表情でかけっこをし、親子競争では楽しそうな笑顔。そんな子どもたちを保護者らは温かく見守り、盛んな声援を送りました。

Junior high school

Nursery school



高齢者の長寿と健康を祝う

カメリーナで、敬老の集いを開催



85歳を迎えた人の代表者に、座布団が手渡されました

23年度の町敬老の集いは9月10日、カメリーナで開催されました。町内の70歳以上の高齢者3,969人が招待され、そのうち約1,100人が出席しました。前後公町長、宇月静子町婦人連絡協議会長があいさつした後、今年85歳を迎えた人たちに、記念品の座布団が手渡されました。出席者を代表して、戸田忠義町老人クラブ連合会長が謝辞を述べました。

その後、開催された演芸では、猪苗代幼稚園、猪苗代保育所や町婦人連絡協議会の皆さんが歌や踊りを披露、出席した皆さんの長寿と健康を祝いました。

地域で楽しむスポーツの秋

町民球技大会で猪苗代一が決定！



写真は、新北町対三城瀧の対戦で逆転サヨナラホームランを放った新北町の渡部貴広さん(20)「自分の一振りで決めようと思った」とのこと。



写真は、山湯・田子沼対樋ノ口の対戦。惜敗した樋ノ口チームでは「あのセッターにやられた」という話が打ち上げまで続いたそうです。

町民球技大会の中央大会は9月11日、町運動公園とカメリーナで開催されました。ソフトボール、バレーボールの白熱した好ゲームの様子を写真で紹介しします。成績は学びの泉をご覧ください。

日本一過酷な道のりに挑戦

磐梯高原猪苗代湖マラソンを開催



早朝5時、100キロ、65キロコースのスタート

第6回磐梯高原猪苗代湖マラソン(磐梯高原ウルトラマラソン)は9月3日、町内のホテルリステル猪苗代をスタート・ゴールとし、猪苗代湖周辺を走る3コースで開催されました。

猪苗代湖を1周半回る100キロコースに約260人、1周する65キロコースには約210人、郡山市の舟津公園で折り返す42.195キロコースには約330人が参加。合わせて800人以上が日頃のトレーニングや健康づくりなどで鍛えた自慢の健脚を競いました。

参加者たちは、気持ちのいい初秋の風と猪苗代湖や磐梯山の風景を眺めながら、思い思いのペースでゴールを目指しました。

のど自慢が練習の成果競う

会津磐梯山全国大会が開催される



日ごろの練習の成果を発揮し、熱唱する参加者

福島県を代表する民謡として、全国の人に親しまれている会津磐梯山の全国大会は9月11日、学びいなかで開かれました。

27回目となる今年の大会には、ジュニアの部、青年の部、壮年の部と高年の部、合わせて約70人が出場し、日ごろ鍛えた自慢ののどを披露。会場を訪れた聴衆を魅了しました。

ゲストとして、前年度優勝者や日本舞踊の若柳流静舞会の皆さんが出演し、会場に花を添えました。

各部の優勝者は次のとおりです。一般の部、小野直美さん(湯川村)、ジュニアの部、松本莉奈さん(福島市)

家造りの伝統を今に伝える

鶴峰団地で昔ながらの建前を再現



久しぶりの建前に、参加した皆さんの興奮も最高潮

町が建設を進めている町営住宅鶴峰団地の上棟式は9月10日、現地で開催され、関係者らが建設中や竣工後の建物の無事を祈りました。式典終了後には1～4号棟の各棟でもちや大根などがまかれ、建前を楽しみに訪れた皆さんが、笑顔でもちを拾いました。

【上棟式とは】※上棟式は、日本で建物を新築する時に実施する神道の祭祀。建物の骨組みが完成した時に催される。別名は建前、棟上げ。おなじみの屋根の上からもちやお金を投げる儀式には「散餅銭の儀」という立派な名前がある。家を建てたときの大きな厄災を避けるために、もちや小銭をまき、他人に持って帰ってもらおうとしたのが始まりという説がある。

交通安全、防犯で恩返しを

浪江町の官野市郎さんらに感謝状



土屋教育長(右)から感謝状を受け取った官野さん(左)

児童・生徒の交通安全活動に対する感謝状贈呈式は9月16日、町教育委員会教育長室で執り行われました。感謝状は、浪江町から本町に避難している間、町内の児童・生徒の安全のために、毎朝街頭に立った官野市郎さんと畠山義輝さんに送られたものです。

レクサイド磐光での避難生活中も自治会長を務めるなど、多方面で活躍する官野さんは「猪苗代町には多くの浪江町民がお世話になった。その感謝の気持ちと恩返しの意味を込めて街頭に立った。交通事故や犯罪のない安全な猪苗代町を作るため協力したい」と感謝を述べました。

「ぼけ」でも心は生きている

私たちが、認知症になった人とのように接したらよいのでしょうか。

認知症になったら、本人は何もわからないと考えるのは誤りです。物忘れが増えたり、今までできていたことが急にできなくなったりすることに、自分自身が一番驚き、混乱しているの

認知症になった人とのように接するか

誰にでも起こる病気
それが認知症です

皆さんの周りに、認知症の人はいますか。認知症は誰にでも起こる可能性のある病気です。現在、85歳以上の4人に1人は認知症高齢者と言われており、その数は年々増え続けています。認知症は、脳や体の病気で脳の神経細胞が損傷を受けたことにより、記憶力や判断力などが低下して、日常生活に支障をきたしてしまう病気です。

しかし、認知症になっても感情や自尊心などの心は残っており、ケアや対応の仕方によって症状が変わってくると言われています。



認知症は誰にでも起こる可能性のある病気です

です。どんなに不安で悲しい思いをしているか考えてみてください。

「どうせ本人にはわからないのだから」といったもの言いや態度、子ども扱いするような接し方は、認知症の人の自尊心を傷つけ、感情が不安定になったり攻撃的な行動行為のきっかけになることがあります。

認知症の人の言動に誤りや失敗があったとき、強く否定したり理屈で説明しようとするとかえって不安感や孤独感をつのらせてしまうことが多いようです。叱ったり否定をせずに、「受け入れる」ことが大切です。言葉だけでなく、表情やスキンシップなど、言葉以外の働きかけも大事にしてください。

人は「自分らしさ」が尊重さ

認知症とはどのような病気なのか、そして認知症になった人

困ったときには、役場保健福祉課や地域包括支援センターに相談してください。

認知症とはどのような病気なのか、そして認知症になった人

自分自身も大切に
疲れたら休みも必要

認知症の人と身近で接していれば、疲れることもあります。「やさしく接したい」と思っている、できない時があるのは仕方がないことです。心身の疲れがたまっているときは、誰だって人にやさしくする余裕などありません。やさしくできないのは、性格が冷たいわけでも何でもなく、疲れているというサインなのです。自分を責めるのではなく、「疲れているんだ」と自覚して、他の人の手を借りたり、積極的に休養をとるようにしましょう。

町で契約した「ヒブ」および「肺炎球菌」ワクチン接種医療機関の中で、接種を取り止めた医療機関をお知らせします。

※10月1日から接種取りやめ

医療法人敬天会小川医院

認知症講演会
「ぼけ」でも心は生きている

▼日時 10月20日(木) 午後1時30分

▼場所 学びいな

▼問い合わせ先 保健福祉課 高齢者福祉業務

☎(62)2115

地域包括支援センター

☎(72)1530

予防接種実施医療機関の変更について



大好きなパパとママと一緒に「ハイ、チーズ！」

「柚凜苗には好きなことをやってほしい。だから元気にのびのびと育てます」パパとママは、柚凜苗ちゃんを見つめながら話しました。

鈴木 柚凜苗 ちゃん

平成22年3月生まれ
～川桁直さん・愛美さん夫婦の長女

最近、言葉らしきものを発し始めたという柚凜苗ちゃん。初めて覚えた言葉は、パパでもママでもなく「アンパン」でした。「柚凜苗のお気に入り」は、アンパンマンのビデオを見ることと走ることに遊びに出ると、一目散に走り出してしまします」とママの愛美さんは笑顔で話します。

パパの直さんが飼育する熱帯魚も好きな柚凜苗ちゃん。一生懸命に水槽をのぞきこむ姿に直さんからも笑みがこぼれます。「家の近所には柚凜苗と同じくらいの友だちがいません。保育所に入ったら、早く友だちを見つけて楽しく遊んでほしいですね」と話す直さんと愛美さん。本当は、いつまでも自分たちが遊びたいほど柚凜苗ちゃんが大好きです。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111

皆さんの善意をありがとうございました

先月号に掲載した東日本大震災への寄付金、義援金や支援物資などのお知らせの中で、主に食品などを提供していただいた皆さんの中に記載もれがありました。心よりお詫びいたしますとともに、あらためて紹介させていただきます。

先月号も含めて、氏名に誤りや記載もれなどがありましたら、企画財務課 ☎(62)2112までお知らせ願います。

【先月号以降の義援金】
学校法人中村学園幸手スイミングスクール、会津信用金庫、pelo.pedir un 大田博司、ヘアサロン・アキ 森岡葉子、Ha-DU 松本喜陽、Happy Orange 白井さと子、神田山吹 (順不同 敬称略)



本町を訪れるお客さんからも続々と善意が寄せられています。写真は宿泊客からの義援金を届ける、森の旅亭マウント磐梯の一ノ瀬正一社長と恵子夫人

【食品・物品など】
豊玉、コーヒーショップヒロ、芳本茶寮、梶マサ子、中村米店、清水則夫、会津有機米研究会、認定農業者会、麴屋商店、台内あき子、猪苗代菓子組合、吉原和歌子、セブンイレブン長浜店、猪苗代スキー場ミネロ、牛木精肉店、(有)吾妻食品、フリア農園、全国のライオンズクラブ、渡部賢蔵、益川ロランス、(株)ハヤオ、(株)ヨークベニマル猪苗代店

生涯学習課からのお知らせ

■「学びいな秋まつり」を開催します

学びいな秋まつりを11月5、6日の両日、開催します。学びいなが主催する講座の受講生の作品展示、町体験交流協会の加盟団体によるステージや高齢者作品展(即売もあり)などで日頃の活動の成果を披露するほか、青少年メッセージ2011の各部門最優秀者の発表もあります。猪苗代町赤十字奉仕団による募金活動もあり、募金をした人には、炊き出し訓練で作った温かいとん汁と風船のサービスがあります。

ぜひ、家族揃ってお越しください。

※詳しくは、10月31日の朝刊の折り込みチラシをご覧ください。

○日時：11月5日(土) 午前10時～午後3時40分

11月6日(日) 午前10時～午後1時40分

○飲食販売：チョコバナナ、山菜おこわ、焼きそば、カレーライスやコーヒーなどの販売のほか、パン工房ポプリなども出店します

■保科正之公生誕400年記念 特別パネル展を開催しています

本年は会津藩祖・保科正之公が生まれて400年の節目にあたります。これを記念して、学びいな2F展示ホールでは「名君・保科正之の生涯と土津神社」と題した特別パネル展を開催しています。入場は無料、11月20日(日)までの展示となりますので、お気軽にご来場ください。

また、福島県立博物館では11月27日(日)まで「保科正之の時代展」を、鶴ヶ城天守閣では10月25日(火)まで「会津藩の祖・保科正之展」を開催しています。



写真は、会場内にある「土津霊神の碑の模型」

■町民球技大会中央大会が開幕

町民球技大会の中央大会は9月11日、町運動公園とカメリーナで開催され、各地区の予選を勝ち抜いたソフトボール、バレーボールの各6チームが、白熱した好ゲームを繰り広げました。成績は以下のとおりです。

○ソフトボール

優勝：樋ノ口チーム

準優勝：千代田チーム

○バレーボール

優勝：川桁チーム

準優勝：山瀨・田子沼チーム



ソフトボール優勝の樋ノ口チーム



バレーボール優勝の川桁チーム

■参加者同士が交流を深める 町民親善囲碁将棋大会を開催

囲碁と将棋を楽しみながら、参加者同士が交流を深める町民親善囲碁将棋大会が開催されます。子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に参加できます。

○日時：11月23日(水・祝)

受け付け開始 午前8時45分から

○会場：学びいな (将棋)研修室、(囲碁)和室研修室

○部門：将棋 小学生/中学生/一般A・Bの4部門
囲碁 一般A・Bの2部門

○参加費：大人1,000円 小・中学生500円

※参加費は大会当日に徴収します(昼食代込み)。

○申し込み：11月13日(日)までに、直接または電話で学びいなに申し込んでください。

新成人の皆さんへ【成人式の参加手続きについて】

平成24年の成人式を下記のとおり開催します。参加を希望する新成人は、11月11日(金)までに忘れずに手続きをしてください。

○日時：24年1月8日(日)

午後1時～1時50分(出席者受付)

午後2時～3時15分(式典・記念撮影)

○会場：学びいなホール

○対象：平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた、次のAまたはBに該当する人

A. 町内に住民登録をしている人
(卒業した中学校は問いません)

9月末日現在で町内に住所がある人には、往復ハガキで案内を送ります。「出席する」「出席しない」のど

ちらかを○で囲んで返信してください。

10月以降に町内に住所を移した人で、出席を希望する人は、学びいなに申し込んでください。

B. 町内の中学校を卒業した人
(住民登録の有無は問いません)

町内に住民登録をしていない場合は、往復ハガキの案内は送りません。出席を希望する人だけ、学びいなに申し込んでください。家族などが代理で申し込む場合は、新成人の氏名、生年月日、連絡先(電話番号など)を申し出てください。



20歳の門出を古里で迎えよう

生涯学習講座募集のご案内

■パソコン講習会の受講者を募集

パソコン講習会を開催します。初心者向け入門コースと中級者向け応用コースがあります。ご自分のレベルと目的に合わせてお申し込みください。

■初心者コース【パソコン入門】

開催日：12月2日(金)、5日(月)、7日(水)、12日(月)、14日(水)、19日(月)の全6回

時間：午前10時～正午

■中級者コース【Wordを使って作品を作ろう!】

開催日：12月2日(金)、5日(月)、7日(水)、12日(月)、14日(水)、19日(月)の全6回

時間：午後1時30分～午後3時30分

■中級者コース【Word・Excel活用術!】

開催日：24年2月1日(水)、3日(金)、6日(月)、13日(月)、15日(水)、20日(月)の全6回

時間：午前10時～正午

・各コースとも定員10人、教材費は1,000円程度です
・中級者コースは基本操作が出来る人が対象です

■大人のガーデニング入門 ～秋の苔玉づくり～受講者を募集

春に開催し、好評を博したこの講座。素材を秋バージョンに変えて開催します。土や植物の心地よい感触を楽しんでみませんか?初めての人も大歓迎です。

○日時：10月21日(金)

午前9時30分～午前11時30分

○講師：猪苗代山草会 本田嗣之先生、中村正先生

○定員：15人 ○料金：1,000円(講師、材料代)



春の受講生の皆さんと講師のお二人。完成した作品を手に笑顔。

猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

花柳流みほ乃会主催、詩吟・神聖流聖涼支部共催によるチャリティー舞踊会は8月28日、アメリカ空軍音楽隊によるジャズ&ポップスライブは8月30日、学びいなホールで開催されました。両日とも会場は満員の観客で賑わい、華やかな踊りや演奏に会場からは大きな拍手が送られました。

学びいな秋まつりでは、協会加盟団体の発表もあります。皆さんぜひ足を運んでください。



花柳流みほ乃会、神聖流聖涼支部などによるチャリティー舞踊会の一幕



本場のジャズで観客を魅了したアメリカ空軍音楽隊

教育委員会コラム 第十八回

♪ 兎追いしかの山、小鮒釣りしかの川♪

誰でも知っている唱歌「ふるさと」である。「ふるさと」を漢字で書くと、古里、故郷、故里などいろいろあるが、「ふるさと」とは一体何であるだろうか?

「汝を愛し汝を憎む」と太宰治はふるさと津軽への屈折した思いを吐露し、野口英世博士は「志を得ざれば再び此の地を踏まず」と強い意志で三城瀧の生家を後にした。時に複雑な思いを抱くこともないではないが、日本人の心情深く訴えかける名曲「ふるさと」のイメージは、穏やかで美しい里山の風景であり、暗くなるまで野山を駆け回った子ども時代とそれぞれの故郷への限らない郷愁の念である。

原発事故のため、故郷に帰れない人が大勢いる。何時の時代にも帰りたくても帰れない人々はいらるものだが、今回のことはさぞ無念であろう。事故の収束と安定が図られ、一日も早く帰れる日が来ることを祈るだけである。

教育委員会では、昨年度から町校長会と各校の先生たちに執筆・編集をお願いし、社会科副読本「わたしたちのきょうと・猪苗代町」の全面改訂に取り組んでいる。

猪苗代の地理、歴史、人物や産業などについて分かりやすく解説したもので、年度内には完成の予定である。小学生向きであるが、大人が読んでも面白く、参考になる内容を目指している。
(土屋)

人事

町職員の人事異動をお知らせします

町職員が10月1日付で異動しました。()内は旧職名。



異動【10月1日付】

課長相当職

▼総務課主幹【プロジェクトチームに指名】(保健福祉課副課長兼高齢者福祉業務主任) 遠藤

係長職

▼総務課業務主任【プロジェクトチームに指名】(町民生活課町民生活業務主任) 鈴木善弘
▼町民生活課町民生活業務主任(教育総務課主査) 小野木克政
▼保健福祉課高齢者福祉業務主任(税務課主査) 渡部智行

係長相当職

▼税務課主査(保健福祉課主査) 二瓶貴之
▼保健福祉課主査(農業委員会事務局主査) 山内身子
▼税務課主査(保健福祉課主査)

ポンスの利用期限が迫っています。利用期間を過ぎると、無料クーポン券は使用できなくなります。

▼子宮頸がん検診 12月24日(土)まで
▼乳がん検診 12月31日(土)まで
(無料クーポン券は、6月末に対象者に送付しています)

募集

冬季間の除雪車運転手を募集します

町では、冬季間の道路交通と生活環境の確保のため、除雪車運転手を募集します。

▼募集人員

除雪車運転手 28人程度

▼雇用予定期間

23年12月15日(木)～24年3月14日(水)

▼採用条件

24年3月31日で満65歳以下の健康な人で、大型特殊免許(ホイールトラクター限定免許除く)と車輛系建設機械運転技能講習終了資格を持っている人
▼提出書類
・履歴書(用紙は建設課で交付します)
・運転免許証の写し
・車輛系建設機械運転技能講習終了証の写し
・健康診断書

▼申込期限 10月31日(月)

▼問い合わせ先
建設課 建設業務
☎(62) 2118

査)湯沢悦子▼農業委員会事務局主査(税務課主査) 小椋聖

出張ひろば開催日時のお知らせ

各地区の開催日は以下のとおりです。開催時間は、各会場とも午前10時～午後4時です。

月輪地区 コミュニティセンター	翁島地区 コミュニティセンター
11月10日(木)	10月13日(木)
12月8日(木)	11月17日(木)
1月12日(木)	12月15日(木)
2月9日(木)	1月19日(木)
3月8日(木)	2月16日(木)
	3月15日(木)
樋ノ口多目的 集会所	川桁防災センター
10月27日(木)	10月20日(木)
12月1日(木)	11月24日(木)
1月5日(木)	12月22日(木)
2月2日(木)	1月26日(木)
3月1日(木)	2月23日(木)
3月29日(木)	3月22日(木)

みんなと一緒に子育てを楽しむ場所

子育て中の家族が気軽に立ち寄り、自由に遊べ、親子同士の交流や情報交換などできる「屋根のある公園」のような場所。それが子育てサロン日向ぼっこです。

お母さん、お父さん、お孫さんを守りのおばあちゃん・おじいちゃん、子どもと一緒に遊んだり、育児について話し合ったりしてゆっくり過ごしてみませんか。子育ての知識と経験を持つ優しいスタッフが、皆さんを待っていますので気軽にお出でください。みんなと一緒に子育てを楽しみましょう。

▼日時 月々土曜日(水曜日または土曜日が休みになります) 午前10時～午後4時

医療

無料クーポン券の利用期限に注意を

子宮頸がん検診・乳がん検診を無料で受診できる「無料クー

治療に関心を持つ人など誰でも参加できます。
▼問い合わせ先
会津保健福祉事務所 児童家庭支援チーム ☎(29) 5278

子育て

子どもの問題の解決を手助けします

すべての子ども(0歳～18歳未満)のあらゆる問題について、家庭などからの相談に応じ必要な助言をする、巡回児童相談会を開催します。

相談を希望する人は、町保健福祉課まで連絡してください(要予約)。
▼日時 11月9日(水)
※時間は、予約後にこちらから連絡します。

▼場所 学びいな

▼相談内容
0歳から18歳未満の子どもの福祉に関するあらゆる相談。会津児童相談所の職員(児童福祉司、心理判定員、家庭相談員)が相談ののります。

▼問い合わせ先
保健福祉課 社会福祉業務
☎(62) 2115

第15回 猪苗代新そば祭り 特産品などの出店者募集

第15回猪苗代新そば祭りは11月12、13日(土、日)の両日、カメリーナで開催されます。会場内や周辺で特産品などを販売する出店者を募集しますので、希望する人は10月21日(金)までに下記まで申し込んでください。

1. 開催日時

11月12、13日(土、日)の2日間
午前10時～午後2時30分
※出店者は、11日の午後か開催当日の朝に準備をしてください。

2. 開催場所

カメリーナ 内外
※屋内の火気使用には制限がありますので、店の配置については、実行委員会で決定します。

3. 準備物

テントやそのほか出店に必要なものは、出店者が用意してください。
※机1台といす2脚は、実行委員会で用意します。
※食品などを提供する場合には、衛生面などに十分注意してください。

4. 出店料
町内の人 無料
町外の人 1ブース当たり2,500円

5. その他

(1) 屋内での火気使用は、卓上コンロ1つまでとします。
(2) 出店内容によっては、出店を遠慮していただく場合があります。

●問い合わせ・申し込み先
猪苗代新そば祭り実行委員会事務局(町役場農林課内)
☎(62) 2116
※前売り券の販売も、こちらまで問い合わせてください。



昨年の出店者の様子(屋内、屋外ブース)

子育て

10月から子ども手当が変わります

子ども手当特別措置法の成立に伴い、23年10月1日から24年3月31日までの子ども手当が次のように決まりました。10月以降の子ども手当を受給するためには、改めて申請が必要です。

▼子ども手当制度のしくみ

○支給金額が変わりました
子ども1人につき月額

・3歳未満(一律) 1万5千円

・3歳以上小学校終了まで
第1、2子 1万円

第3子以降 1万5千円

・中学生(一律) 1万円

※18歳以下の子どもの中で年齢の高いものから第1子として数えます。

○支給対象の子ども

0歳から15歳までの子ども

(15歳の誕生日を迎えた後、最初の3月31日を迎えるまで)

○支給対象者 支給対象となる子どもの養育者

○支給月 24年2月(23年10月分) 24年1月分)

24年6月(24年2月分) 3月分)

▼新たな支給要件など

・子どもが国内に住んでいるこ

と(留学中の場合を除く)。

・児童養護施設に入所している子どもについては、施設設置者などに子ども手当が支給されるようになりました。

・監護生計同一要件を満たす人が複数いる場合は、子ども同居している人に支給されます(単身赴任の場合を除く)。

▼申請手続き

現在子ども手当を受給している人には、10月下旬ごろまでに案内通知と認定請求書を送付します。請求書に必要事項を記入の上、必要書類を添えて申請してください。新たに申請する人は、保健福祉課で書類を受け取ってください(公務員は所属庁に請求してください)。

※猶予期間の特例 10月1日時点で支給要件に該当している人は、24年3月31日までに申請をすれば、10月からの手当を受け取ることが出来ます。

※10月1日から24年2月29日までの間に新たな支給要件に該当した人は、該当した日の翌月分から支給されます(出生の場合には出生した翌日から、転入の場合は前住所地の転出予定日から15日以内の請求であれば、月がまたがっても出生した月や転出した月の翌月から支給されます)。

▼問い合わせ先

保健福祉課 社会福祉業務
☎(62) 21115

学校での子どもたちのけがについて

子どもが学校管理下(保育所・幼稚園・小中学校)でけがをしたときは「日本スポーツ振興センター」の災害給付金が支給されます。このような場合、町の医療費助成の対象外となるため、乳幼児及び児童医療受給資格証は使えませんので、注意してください。

詳しくは、学校などに問い合わせてください。

▼問い合わせ先

町民生活課 国保年金業務
☎(62) 21114

お知らせ

ぴーすの会がいも煮会を実施します

猪苗代町余暇支援活動の会(ぴーすの会)は、障がいのある人もない人も、一緒に交流し合える豊かな地域社会づくりを目指し、毎年、音楽、運動や食事などの楽しい活動をしている会です。

納期限後に申請した場合は、申請の翌月以降から月割減免となります。年度途中で減免の要件に該当した場合も同様です。減免の範囲や申請手続きなどの詳細については、会津地方振興局県税課にお尋ねください。

▼問い合わせ先

会津地方振興局県税課 課税第二課 ☎(29) 5261

掲示板

告示

・第98号「平成23年度軽自動車税督促状の公示送達」(税務課収納業務)

・第99号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)

・第100号「平成23年度町県民税督促状の公示送達について」(税務課収納業務)

・第101号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納業務)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

税金

本年度の自動車税納期限は10月です

自動車税は県民の皆さんの福祉の増進や教育などのために使われている大切な税金です。定められた納期限(23年度は10月31日)までに、忘れずに納めてください。コンビニエンスストアでも納付できますので、こちらもご利用ください。

自動車税を納めたときの領収

証書には、継続検査(車検)用の納税証明書が付いています。車検のときに必要となりますので、車検証と一緒に大切に保管しておいてください(23年10月30日までは前年度の納税証明書がご利用できます)。

▼問い合わせ先

会津地方振興局県税課 課税第二課 ☎(29) 5261

もつすぐ年末調整の時期を迎えます

次の日程で年末調整事務の説明会を開催します。

▼問い合わせ先

町民生活課 ☎(62) 21114

放射線量測定器の貸し出しについて

「身近な地域の環境放射線レベルを自ら測定したい」という町民の皆さんの要望に応え、町は放射線量測定器を購入しました。各PTAなどの事務局や各地区区長会を通して貸し出すほか、ボランティア団体、各種団体や行政区未加入者へも貸し出します。

●貸出対象者・申し込み方法

①保育所、幼稚園、小・中学校の各保護者会・PTAなどの地区代表者

地区代表者は、各地区の会員の要望を取りまとめ、各保護者会・PTAの事務局に予約の上、借用してください。団体ごとに貸出時間などが違いますので、会員の皆さんは事務局に相談してください。

②各行政区長

行政区長は、地区住民の要望を取りまとめて、区長会長に予約の上、借用してください。地区ごとに貸出時間などが違いますので、放射線量測定を希望する人は、行政区長に相談してください。

③ボランティア団体、各種団体、行政区未加入者

電話または直接、町民生活課生活環境業務に予約をしてください。借用日の午前9時以降、窓口に借用申請書を提出し借用してください。印鑑と運転免許証などの氏名住所を確認できるものを持参してください。返却は同日の午後4時30分までです(貸し出しは、平日だけです)。

●貸出開始日：10月24日(月) から

●貸出回数：1回につき1台

●予約開始日：10月17日(月) 午前9時から

●問い合わせ・申し込み先

町民生活課 町民生活業務 ☎(62) 21114

役場敷地内が全面禁煙になりました

受動喫煙を防止し、健康の維持と増進を図るため、10月1日から駐車場を含む役場敷地内のすべてが全面禁煙となりました。



皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼問い合わせ先

総務課 行政管理業務 ☎(62) 21111

▼対象

町内の法人と個人事業者

▼日時 11月18日(金)

受付 午後1時、説明会 午後1時30分～3時15分

▼場所 町役場正庁

▼問い合わせ先

会津若松税務署 法人課税第一

部門源泉所得税担当

☎(27) 4311(内線144)

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成23年8月31日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成23年	平成22年	増減	増減率%
猪苗代町		56	62	-6	-9.7
磐梯町		10	14	-4	-28.6
裏磐梯		6	10	-4	-40.0
計		72	86	-14	-16.3

町村別	猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	23年	22年	23年	22年	23年	22年
窃盗犯計	47	51	9	10	6	10
空き巣		2				4
金庫破り						
事務所荒らし						
出店荒らし	4		1			
倉庫荒らし		1				
侵入盗その他	2	2	1		1	1
置き引き				1		
車上ねらい	3	4	1		2	1
部品ねらい	1					
脱衣場ねらい	3	3				
自販機ねらい		1				
万引き	13	11				
職場ねらい		2				
さい銭盗	1	1				
畑荒らし						
スキー・スノーボード盗	7	4	2	7	1	2
非侵入盗その他	2	15	4	1	2	2
自動車盗		1				
オートバイ盗						
自転車盗	11	4		1		
その他の乗り物盗						
暴行・傷害		1		1		
詐欺・横領	3	3				
遺失物等横領		1				
器物損壊	4	4		2		
その他の刑法犯	2	2	1	1		
総計	56	62	10	14	6	10
増減		-6		-4		-4

◎8月は、自転車盗や万引きが発生しています。
◎自転車は、2カ所に鍵をするように心がけ、かけ忘れに注意しましょう。

2 交通事故状況

死亡事故	1	0	0	0	0	0
増減		1		0		0
人身事故	60	61	5	12	1	5
増減		-1		-7		-4

◎運転者は上向きライトで「見る」こと、歩行者は夜光反射材で「見せる」ことに努めてください。

募 集

県内で活躍する企業が合同就職面接会を開催

24年3月に大学院・大学・短大・高専・専修学校などを卒業予定の人、21年3月から23年3月までに卒業して、現在就職活動中の人を対象に、合同就職面接会を開催します。参加するのは、県内に就業場所または営業拠点があり、正社員として雇用する計画のある事業所です。

●名称 平成24年度ふくしま大卒等合同就職面接会

●開催日時・場所 11月2日(水) 午後1時～午後4時 郡山ビューホテルアネックス

※詳しくは下記まで問い合わせてください。

◎厚生労働省福島労働局職業安定課 ☎024(529)5396

再就職に役立つ情報を就職支援セミナー2011

再就職を目指す人のために、仕事探しに役立つ情報・知識をお伝えします。一人で悩まず、一歩前に進んでみませんか。受講料は無料です。特に中高年、女性や被災者の参加を歓迎します。

●開催日時 ①10月21日(金) ②11月11日(金) ③12月9日(金) ④1月20日(金)

※各回定員10人。時間は午後1時30分～午後3時30分。筆記用具

を持参してください。

●開催場所 ふくしま就職応援センター 会津若松窓口(会津若松商工会議所会館2階、駐車場あり)

※事前に申し込みが必要です。電話で予約してください。

◎ふくしま就職応援センター 会津若松窓口 ☎(27)8285

自衛隊員を養成する高等工科大学校生徒を募集

自衛隊では、高等学校の普通課と同等の教育と、技術陸曹として必要な教育や訓練を受ける高等工科大学校生徒を募集します。対象は、中学校卒業後など17歳未満の人です。

●申し込み資格 中卒(見込み含む)17歳未満の人

●受付期間 11月1日(火)～24年1月6日(金)

●一次試験 24年1月14日(土)

●試験会場 受付時または受験票交付時にお知らせします

●受験料 無料 ※詳しくは下記まで問い合わせください。

◎自衛隊福島地方協力本部 会津若松出張所 ☎(27)6724

障がいへの理解を深め共に生きる社会を作る

精神障がい者への理解を深め、共に生きる地域社会を創るために学ぶ講座を町内で開催します。誰でも受講できますが、事前に申し込みが必要です(参加は無料)。

◎第1回、第3回 講話など 10月21日(金)、11月30日(水) 午後1時30分～午後4時

◎第2回 施設見学など 11月9日(水) 午前9時30分～午後4時

●申し込み締切日 10月17日(月) 電話で申し込んでください。

※詳しくは下記まで問い合わせてください。

◎会津保健福祉事務所 保健福祉課障がい者支援チーム ☎(29)5275 役場保健福祉課 ☎(62)2115

お知らせ

税理士会の無料相談で税の疑問を解決しよう

会津若松税理士会では、11月11日から始まる「税を考える週間」に合わせて、無料相談を実施します。税についての質問や相談を受け付けますので、ぜひご利用ください。

●開催日時 11月15日(火) 午後1時～午後4時

●開催場所 アピオスペース

●相談員 東北税理士会 会津若松支部

◎東北税理士会 会津若松支部 支部長 遠藤久 ☎(32)1960

もしかして肝臓疾患? 相談や質問の機会です

ウイルス性肝炎(B・C型肝炎)をはじめとする肝疾患に不安・疑問を持つ人、患者や家族などからの専門的な相談に応じます。肝疾患について相談のある人は、ぜひ利用してください(相談は無料、秘密厳守)。

●相談方法 電話か面談による相談

●相談日時 週2回(月・水曜日) 午後2時～午後5時(ただし、祝祭日、年末年始を除く)

面談には事前予約が必要です。 ●相談場所 福島県肝疾患相談セン

ター(福島県立医科大学附属病院 消化器内科外来内)

◎福島県肝疾患相談センター ☎024(547)1414(専用番号)

HIV・エイズの不安に専門カウンセリング

HIV感染者・エイズ患者やその家族などに対するカウンセリングを実施しています。検査、治療、社会生活をする上での不安や悩みなどの相談にのります(相談は無料、秘密厳守)。エイズについて相談のある人なども利用できます。

●相談方法 臨床心理士による面談

●相談日時 毎週月曜日 午前9時～午後5時(ただし、祝祭日、年末年始を除く)

電話で事前予約が必要です。

●相談場所 福島県立医科大学附属病院 カウンセリングルーム

◎福島県立医科大学附属病院 ☎024(547)1215(専用番号)

秋の火災予防運動実施

●実施期間 11月9日(水)～11月15日(火) 23年度全国統一防火標語

「消したはず 決めつけないで もう一度」

●住宅防火 命を守る7つのポイント 【三つの習慣】

・寝たばこは絶対にやめる

・ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する

・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

【四つの対策】

・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する

・寝具や衣類からの火災を防ぐために防災製品を使用する

・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する

・お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

◎猪苗代消防署 ☎(62)4433

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
メッセージは削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口に申し出てください。

町の人口

23年9月1日現在の現住人口

人口 15,858人
世帯数 4,986戸

出生 8人 転入 50人
死亡 23人 転出 20人

●町民税 3期分

●国民健康保険税 4期分

●介護保険料 4期分

今月の納期

(納期限10月31日) ●後期高齢者医療保険料 3期分

●上下水道使用料 10月分

●下水道受益者負担金 3期分

猪苗代町
乗合タクシー
☎(62)3335

編集後記

▼9月26日、岩手県で一つの市町村合併があった。一関市と合併したその町の名は、藤沢町。過疎に苦しむ中から「住民自治」という道を選択し、住民が自ら考え、動き出した。今、日本中の自治体で叫ばれている「協働のまちづくり」に、40年も前から取り組んだ先進地だ。▼町民と行政が一体となって作り上げた財産は、数え上げればきりが無い。そして広報誌は、常に町民を後押しし、時には先導し、まちづくりを支えた。広報の内容が素晴らしい。広報の役割は、広報誌と町民の理想的な関係がそこにはあった。だから全国の担当者が目標にしたのだろう。▼藤沢町民が町の宝として挙げたものの中に、広報誌が入っていた。広報の価値と担当者の故郷愛を、町民が一番理解していた証拠だと思ふ。▼広報猪苗代も、その理想の関係を築くことを目標に、努力を続けていきたい。(大坂)

みんなの美術館

10月は猪苗代小学校のお友達の作品です

Our Museum



長沼 ^{たつみ} 巽美さん(2年)

「タイガーサウルス」

夢に出てきた動物、タイガーサウルスを粘土で作りました。タイガーサウルスは、3本のしっぽで僕に家を作ってくれました。そのしっぽと大きな一本の角がお気に入りです。



書道「月」

一番最後のはねるところに気をつけて書きました。はらいもはねも上手にできたと思います。次に書くときは、もっと細かいところに気をつけて書こうと思います。



小林 ^{りず} 莉珠さん(3年)

食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No.173

会津葵大根とエビのサラダ (メタボ予防献立)



【材料】4人分

会津葵大根 1/2本・キュウリ 1本・ボイルエビ 8尾・レタス 大きめの葉 3枚分・のり 適量・削り節 適量

【作り方】

- ① 会津葵大根は千切りに、キュウリは輪切りにする。レタスは食べやすく手でちぎる。
- ③ 会津葵大根、キュウリ、レタス、ボイルエビを器に盛り付ける。
- ④ 最後にのりと削り節をのせ、好みのドレッシングをかければ出来上がり。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 40kcal、タンパク質 6.6g、脂質 0.1g、炭水化物 3.2g、カルシウム 35mg、食物繊維 1.4g、塩分 0.1g

■一口メモ■

ドレッシングには油と塩が多く入っています。体のために野菜を食べてもドレッシングで油と塩分をとりすぎては、意味がなくなってしまいます。のりと削り節の風味を生かして、ドレッシングは控えめにしましょう